

式 辞

弥生三月、ここ大島に春が巡り、五名が巣立ちの時を迎えました。

本日のこの佳き日に、宗像市教育委員会 教育子ども部長 瀧口健治（たきぐちけんじ）様をはじめ、ご来賓及び大島の皆様の多数のご臨席のもと、宗像市立大島中学校として記念すべき、平成二十九年 第七十一回 卒業証書授与式を盛大に挙行できますことは、卒業生はもとより、私達教職員一同及び在校生にとつて大きな喜びであります。高いところからではありますが、ご臨席いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。愛情深く子育てをしてこられた保護者の皆様に心から敬意を表し、衷心（ちゅうしん）よりお喜

び申し上げますとともに、入学以来三年に亘り、本校の教育活動に深いご理解と、温かいご支援を賜りましたことに、謹んでお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

本日は、お子さまの立派な姿をご覧になりながら、赤ん坊の頃、保育所の頃、小学校の頃、中学校と、いつも側にいて見守ってこられた成長の日々を思い出されていることでしょう。心配も喜びも腹一杯して、それらは全てがよい思い出となり、子ども達が一人の人格を持った人間として立派に成長していることに、感慨もひとしおのこととお察しします。

また、佐藤コミュニティ協議会会長様をはじめとする大島の皆様、卒業生たちが、こうして晴れやかに凜とした姿で学舎を巣立っていくことができるのも、彼らをここまで慈（いつく）しみ支えてくださいました皆様の

おかげであり、心より感謝するとともにお礼申し上げます。本当にありがとうございますございました。

ただいま卒業証書を授与した卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員一同、心より祝福いたします。

心を落ち着かせ、静かに振り返ってみてください。きつと誰もが、ここ大島に流れる季節の風とともに印象深い場面が蘇えってくることでしょう。それら全てが「経験」という名の財産です。かけがえのない貴重な「自信」となって、皆さんのこれからを支えてくれるはずです。

先生方が皆さんに求めた力は、社会を生きぬく実践力です。「大きな心でしっかりと学び何事に負けない子ども」を教育目標とし、自信をもって自分のよさを発揮することをキーワードに、「挑戦こそ、夢実現の第一歩」まずはやってみようという気持ちで皆さん

は、実践力を培ってきました。

高校の生徒会と合同研修会、九州北部豪雨で被害にあった東峰村でのボランティア活動や募金活動、新船フェリー就航式での司会進行、全島運動会閉会式での委員長による講評、大島地区敬老会での司会進行、年3回の海岸クリーン作戦、2年間にわたる世界遺産登録への自作DVDの作成、テレビ会議システム（スカイプ）による遠隔授業での日の里中学校との交流、百人一首大会やビブリオトークなど、歴代の先輩方から受け継いだ大島の伝統を大切にしながら、自分達らしさを出して、新しいことにも沢山チャレンジをしてくれました。

遠藤大夢さん、河野渚さん、河辺紗良さん、辻琴波さん、毎田琴美さん、皆さんは、大島中学校の誇りです。私は、皆さんを誇りに思います。ありがとう。

四月からは、新たな活躍の舞台が待っています。それぞれが新しい学びの中で、知識や技能をさらに修得し、活用していくことになります。中学時代に抱（いだ）き、育んできた夢や希望、目標が是非とも実現することを、そして、夢や希望、目標を、いつの日か強い信念と飽（あ）くなき継続に裏打ちされた「志」に進化させて、それぞれの道で活躍されんことを願っています。同時に、優しさに包まれたここ大島での生活の中で抱いた、「誰かの役に立ちたい」「地域の役に立ちたい」「地域に恩返しをしたい」といった健気（けなげ）で純粋な思いを、いつまでも持ち続けてほしいと思います。そして、できることなら、より多くの者たちがいつの日かこの大島の地に「志を果たしに」、或いは「志を果たして」帰られんことを心から願っています。

私自身、この大島を取り巻く海について

「海は隔てるものではなく、つなぐもの」と考えています。日本中どこへ行こうとも、また世界中どこへいこうとも、この海によって、又かけがえのない思い出によって、あなた方一人一人と大島はつながっています。大島小・中学校での学びに誇りを持ち、自ら大きな帆を張って、人生の荒波に漕ぎ出てください。勇氣と誇りを持って！

これから進む社会は、変化・変動・変革の著しいものとなるでしょう。「十年一昔」では到底済まない、一年一年そのものが変わり続け、世にいう常識がすぐ変わってしまう、激しい変化に戸惑うことも多いと思われるます。しかし、「たじろがず向かい風に立て」！怯（ひる）むことはありません。人間の力は図りしれないものがあります。それは、身体能力だけでなく、「不屈の精神」です。

平昌オリンピッククスピードスケート女子
五百メートルで金メダルを獲得した小平奈

緒選手の座右の銘は、ガンジーの言葉、「明日、死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」です。メダルを期待されたアスリートの「覚悟」を感じさせられます。

私は、皆さんに「覚悟」までは言いませんが、「負けるな」という言葉を添えて送ります。この言葉の中には、「人に負けてもいいが、やるべきことをやろうとしない、自分の心の弱さにだけは負けるな」という思いがあります。高校では、「自分で学ぶことを見つけて、続けてください」、「習慣は才能を超える」と信じています。

さあ、巣立ち、旅立つ時がやってきました。まなざし高く未来を臨（のぞ）み、今という時を懸命に生き、輝かしい第一歩を踏み出そうとしている皆さんに、心からエールを送りますとともに、その人生の旅路に幸多からんことを願ってやみません。

結びに、ご来賓の皆さま方、並びに保護者

の皆さま方の本日のご臨席に、重ねて感謝申し上げますとともに、四月から義務教育学校として開校する本校の更なる発展、充実のため、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、式辞と致します。

平成三十年 三月 九日

宗像市立大島中学校校長 竹原 誠